

第 35 期 「筑豊ゼミ」報告書

2022.04 ～ 2023.03

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター



筑豊ゼミでは、地域住民と近畿大学産業理工学部をはじめとする地域の大学が協同して地域づくりに関する活動を行うことで、生涯学習の場の提供や地域活動グループのネットワーク化促進・新しい将来像の形成・地域経済の健全な発展のための仕掛けづくりを行っています。

はじめに

第 35 期（2022.04.01～2023.03.31）も第 34 期に続き、2020 年の初頭から広がりはじめた新型コロナウイルスによる影響を受けつつ状況をみながら活動していく 1 年となりました。

今期も新型コロナウイルスとつきあっていく生活に対応していかざるを得ない状況の 1 年となってしまいました。変異株の出現や感染の波があり、新型コロナウイルス感染拡大防止の指針に沿った行動をすることが求められることが引き続きありました。

新型コロナウイルスとつきあっていく生活に対応していかざるを得ない状況のなか、徐々に適応していく 1 年となってしまいました。

また、今期途中から、新しい研究会「写真家 2.0/筑豊地域おこし写真研究会」が発足しました。写真を通して地域とのつながりを模索していきます。また他の研究会との横のつながりも期待できます。

報告書 目次

1. はじめに	P01
2. 第 35 期 筑豊ゼミ開講式	P02
3. 第 35 期 研究会活動報告	
01.市民遺産研究会	P03
02.古代のロマンに酔う研究会 ～遠賀川上流古代祭～ヒミコを捜そう～	P07
03.住み続けたいまち・住んでみたいまち ～勝手に提案研究会	P09
04.つかこうへいと筑豊研究会	P13
05.情報発信/データデザイン研究会（pdd 研）	P19
06.写真家 2.0/筑豊地域おこし写真研究会	P21
4. 地域づくりセミナー報告	P25

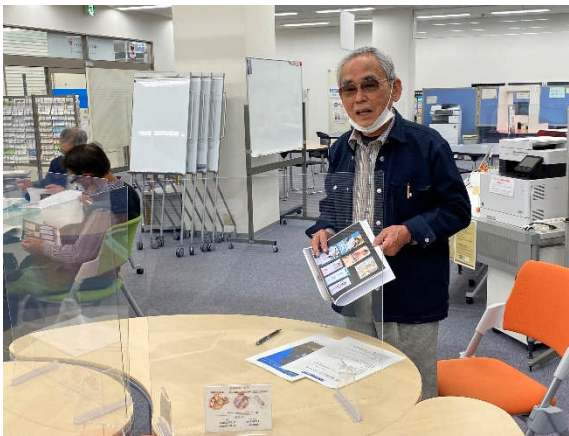
2. 第 35 期 筑豊ゼミ 開講式

2022.04.22(木) 19:00 より飯塚市民交流プラザ（つなぐカフェ@飯塚）にて、第 35 期筑豊ゼミ開講式を行いました。

第 34 期に引き続き、新型コロナウイルスの影響を考慮し、第 34 期と同様に、第 35 期筑豊ゼミ開講式にて、第 34 期活動報告を各委員会の紹介と兼ねて行うこととしました。

今期も、5 つの研究会で活動を行っていくこととなりました。

（今期途中より写真家 2.0/筑豊地域おこし写真研究会が活動を開始しています）



今期も、状況が許すなかでの活動となりますが、「筑豊ゼミ」の歴史を踏まえ「住学協同機構」の精神を持って、第35期も各研究会とも活動を推進していきます。よろしくお願いいたします！

01 市民遺産研究会

会長：白神 精一

第 35 期筑豊ゼミ 市民遺産研究会 5 月～7 月例会

会長：白神 精一

○ 5 月例会：35 期の市民遺産研究会の初例会は 5 月 20 日、白神会長が、下記に示した大量の資料を持参され、今期、大きな波が打ち寄せる予感で始まりました。

1. 飯塚観光協会発行の各種マップ(順不同)

- ・遠賀川流域嘉飯古墳 & 遺跡マップ
- ・飯塚炭鉱遺構めぐりマップ
- ・飯塚神功皇后伝説めぐりマップ
- ・炭都鉄道路線図
- ・黒田官兵衛(如水)・長政ゆかりの地マップ
- ・写真で観るいづか街歩きマップ

2. ふるさと再発見 — 口碑伝説に見る史跡・文化財リスト

3. 来てみて発見。飯塚：飯塚市ガイド BOOK(全 15 ページの立派なガイドブックです)

会員みんな、白神会長の説明を聞きながら、今期はどこに行こうかな？と胸を躍らせていました。

○ 6 月例会：5 月例会が飯塚の話ばかりだったので、6 月は直方！とばかりに、直方の話

1. 直方の文化財(概要説明付きの資料が提出されたが、省略)

福岡県指定文化財

- ① 西徳寺の梵鐘(有形文化財：美術工芸品/江戸時代) 元は福岡城で「時を告げる鐘」
- ② 石柱梵字曼荼羅碑(有形文化財：考古資料/平安時代) 植木の横町にある観音堂に祀られている。
- ③ 滑石製経筒入(有形文化財：考古資料/平安・鎌倉時代)
- ④ 建武の板碑(有形文化財：考古資料/南北朝時代)
- ⑤ 空也上人像(有形文化財/室町時代) 植木町の聖人堂(空也堂)に祀られている。
- ⑥ 直方日若踊(無形文化財/江戸時代) 素朴な「思案橋踊」と優美な「本手踊」の 2 種が伝承
- ⑦ 植木三申踊(無形文化財/江戸時代) 空也上人の念仏踊りの流れをくむ
- ⑧ 多賀神社の神幸祭(無形文化財/江戸時代)起源は京都加茂神社の葵祭に習い行列を整えたもの

- ⑨ 水町遺跡群(史跡/古墳時代：6世紀中頃～7世紀後半)遠賀川流域の典型的横穴墓群
- ⑩ 花ノ木堰の大公孫樹(おおいちょう)(天然記念物) 樹齢1000年を超える銘木
- ⑪ 多賀神社の黄玉樹(おがたまのき) (天然記念物)

2. 郷土の人物(各人1ページにわたり紹介 ここではタイトルのみ)

- ・和泉 要助：人力車の発明者
- ・貝島 太助：貝島石炭王国の創始者
- ・許斐 鷹介：明治の石炭界の風雲児
- ・堀 三太郎：子孫のために美田を遺さなかった
鉱業家

○ 7月例会

飯塚歴史資料館館長島田光一さんの館長講座が「明治時代の筑豊炭田について 一目尾炭鉱と潤野炭鉱」と題して開催されました。その概要を会員の山下さんが報告されました。

第 35 期筑豊ゼミ 市民遺産研究会 10 月例会

雲一つない青空に恵まれた 10 月 20 日木曜日、新会員に小林さんと浜田さんを加え、総勢 8 名となった市民遺産研究会は「曩祖八幡宮」に集合しました。

曩祖八幡宮は応神天皇・仲哀天皇・神功皇后・武内宿禰をご祭神とし、境内には八幡宮・天満宮・祇園宮・稲荷神社など 12 社が祀られていて、江戸時代から飯塚市民の氏神様として親しまれている由緒ある神社です。

今回は曩祖八幡宮「壇の上の会」の小林さんの企画により、同会会長で郷土史家でもある、竹下茂木さんの案内のもと、新しくなった境内を一巡りしました。

まずは 60 段ほどの階段を上がって若光稲荷神社へ。途中に「申庚尊天」の石碑、これは「庚申」を誤って「申庚」と彫ったらしい、全国でも珍しい石塔でした。

高浜虚子やその家族の歌碑が立ち並び、一番新しい厄神社の右には 400 年前の創建時に建てられた鳥居の一部、すぐ左にはその時使われた手水石があり、寛永 17 年(徳川家光治世)の年号が刻まれ、祇園宮のおみこしには皇紀二千六百年記念(昭和 15 年)と書かれていました。

別棟の展示室には夜光貝を使った豪華で緻密な螺鈿細工の白孔雀図(慶應元年)や黒田二十四騎の図(万延 2 年)。また、黒田二十四騎絵馬で唯一黒田官兵衛が描かれたイラスト画も展示されていました。今に残るこれらの作品の数々は時の流れと歴史の重みを伝える資料でもあります。タイムスリップしたようなひと時の中にも、このご時世を反映したものがありました。社務所近くにある手水舎は手洗いではなく、“自動水栓”でした。

飯塚天満宮は太宰府天満宮から勧請され、菅原道真公の分霊が祀られています。ここにある飛梅は、会員の高橋さんの母上の結婚祝いに植えられたもので、何もかも知らないことばかり。とても時間が足りないというのが実感でした。

現在、“令和の大改革”二期目だという曩祖八幡宮。リニューアル後も「さらに情報発信していきたい」と、竹下さんは力強く話されていました。

竹下会長、小林さん大変お世話になりました。見どころ満載の曩祖八幡宮、また訪れたいと思っています。

心地よい疲れとともに、楽しく過ごした秋満喫の半日でした。

(山下 末廣 記)

(菊川追記) 右上写真は、幕末から明治維新に活躍された、小林会員のご先祖様

「博奕改役 小林文吉」さんが寄進された狛犬です (当日撮影)。



献鮭祭嘉麻市 鮭神社献鮭祭 報告

第 35 期筑豊ゼミ 市民遺産研究会

嘉麻市大隈にある鮭神社では、毎年 12 月 13 日に遠賀川を遡上した鮭を奉納して無病息災、五穀豊穡を祈願する「献鮭祭」が行われます。

市民遺産研究会では、今年も昨年に引き続いてこの祭典に参列しました。

拝殿前には遠く稚内から届けられた鮭など 5 匹が並び、午前 11 時に神主の祝詞、宮総代や氏子代表、区長や関係団体の順で玉串を献上し、最後に鮭の奉納となるのですが、残念なことに今年は遠賀川での鮭の捕獲がなかったとのことで(5、6 年ぶりのことだそうです)、背びれや尾ひれをつけて「鮭」に模した「大根」が奉納されました。

この祭典のもう一つの楽しみは、黒田節の大里酒造から振舞われた暖かい「甘酒」。そのおいしさは格別で、冷え切った身体に染みわたりました。

昨年に続けての参列でしたが、昨年は「遠賀川の鮭」、今年は「大根の鮭」と、異なった奉納に立ち会うことができて、貴重な体験となりました。

早いものであれから一年、私たちは再び献鮭祭に参列できたことを喜び、何よりも健康のありがたさを実感したものでした。

夜 11 時過ぎの KBC テレビで、この祭典の様子が放送され、昨年に続き、今年も千代田さんが写っていました。



(KBC の映像は、<https://www.youtube.com/watch?v=3C4Nn7fEbic&t=66s> で見るができます。)

(山下 末廣 記) (写真 菊川 清)

02.古代のロマンに酔う研究会

会長：藤江 文雄

遠賀川流域が古代文化で栄えた地域であることを全国的に広める。

また、学究的な研鑽を積みながら、色々な催し物を企画し、歴史の嵐を吹かせなければと想っています。

※遠賀川上流古代祭り実行委員会(団体会員)が運営している研究会

福岡県青少年アンビシャス運動開設20周年記念
「第4回遠賀川上流古代祭」趣意書

「第4回遠賀川上流古代祭」実行委員会

代 表 藤江 文雄

福岡県の中央を南北に貫き響灘に至る遠賀川流域は、縄文・弥生から古墳時代にかけての遺跡遺物が多く発掘、確認されています。

飯塚市内では立岩遺跡から発掘された前漢鏡をはじめ多くの埋蔵物、寺山古墳、川島装飾古墳、小正古墳等の古墳群、嘉麻・穂波の稲作地域、笠置の石包丁、井手が浦窯跡他多くの遺跡、埋蔵物が発掘、確認されています。また、遠賀川流域が日本の稲作の発祥地と相まって嘉麻、桂川、穂波の豊かな稲作地域は、後に大和朝廷の屯倉が置かれました。古代の遠賀川流域に多くの集落が存在し、活発な生産・交易活動、文化活動が展開されていたことが推測されます。特に嘉麻川、穂波川が合流する周辺は、古代の豊かな文明を興した地域であり、日本の黎明期を支えた一つの地域だと考えられます。

また、江戸時代長崎街道が遠賀川沿いに南北に貫通し交通の要衝であり、殊にシュガーロードと銘されて地域に膾炙されています。大名行列の宿場町、中継町として栄えた近世、また我が国の近代工業発展に寄与した歴史にふれることは青少年のアイデンティティーを育成するのに大切なことであると考えられます。

このことから

- ① 地域の古代、近世、近代の文化を掘り起こし繋げて、嘉飯桂が持つ潜在的可能性の具現化を期待し、遠賀川上流流域の創生・活性化を図る。
- ② 地域の子ども達や市民が、地域に対する誇りを持ち、帰属意識、郷土愛、帰郷意識の昂揚を期待する。

そこで、福岡県青少年アンビシャス運動開設20周年の記念も加味し、広く実行委員会を組織し、別添、事業計画に基づき、「第4回遠賀川上流古代祭」開催に向けての取り組みを進めています。

事業名：「第4回遠賀川上流古代祭」

開催日：令和3年11月7日（日）

開催場所：穂波地区交流センター(ホール) 穂波体育館、駐車場

主催団体：「第4回遠賀川上流古代祭」実行委員会

共催団体：福岡県青少年アンビシャス運動支援の会
NPO法人 筑ゼミ

後援団体：(依頼中) 飯塚市。飯塚市教育委員会、嘉麻市教育委員会、桂川町教育委員会

協力団体：(依頼中) 穂波地区交流センター、各地まちづくり協議会

各新聞社、飯塚ライオンズクラブ、飯塚ロータリークラブ、
飯塚青年会議所、飯塚商工会議所、飯塚ソロプチミスト、
飯塚ボーイズ・ガールズスカウト、嘉飯桂内各小・中・高等・大学校
飯塚市文化連盟、各企業・団体等
各出演・出店団体。等

実施内容(案)

- 館内： ① 座談会：「シュガーロードを語る」（視聴覚室）
② 「私がヒミコ」コンテスト（公募：性別・年齢制限なし）
③ 朗 読 ・ 読み聞かせ
④ 大きな書
⑤ ダンス」（公募、若干数：舞踊やダンス、ジャンルを問わず）
⑥ 演奏 ◎ 「ヒミコの歌」
◎ バンドネオンでタンゴ演奏
⑦ 煎茶体験 （茶室）
⑧ 展 示 イラスト、習字

- 駐車場： ① 火おこし
② 埴輪づくり
③ 土器作り
⑤ 弓矢づくり
⑥ ヒミコ衣装
⑦ 勾玉・管玉づくり
⑧ バルーンアート
⑨ バスケットハンキング（花の寄せ植え）
⑩ シュガーロード（各菓子メーカー、各高校、サークル、個人が出店）

- ゲーム等： ① 魚釣り
② 射的
③ 弓
④ ストラックアウト

- 販 売： ① ヒミコ弁当、古代食
② シュガーロード（各菓子製造会社、各高校、個人出店）
③ 出店（タイ焼き、唐揚げ、カレー等）
④ 飲み物（飲料水など）
⑤ 焼きそば
⑥ ポップコーン
⑦ わたがし作り
⑧ かき氷
⑨ フリーマーケット（各種・公募）
※コロナ感染状況によっては飲み物以外は中止の場合があります。

体育館

- ① 紙飛行機大会（小中学校生から 30 名公募）
紙飛行機に関する研修の後、飛行大会
② ドローン体験 （小中学校生から 20 名公募）
ドローンに関する研修の後、ドローン飛行体験

03 ■住み続けたいまち 住んでみたいまち～勝手に提案研究会 会長：六谷 拓也

「学生が多く住んでいるだけのまち」から「学生を当事者とする」取り組みに加え、「地域の方々が当事者となる」ような取り組みを通じて、いいづかのまちを「住み続けたいまち 住んでみたいまち」にしていけるよう、語り、研究し、そして勝手に提案していきます。

※(公社)福岡県建築士会飯塚地域会、近畿大学教員・学生及び市民が連携して活動しています。

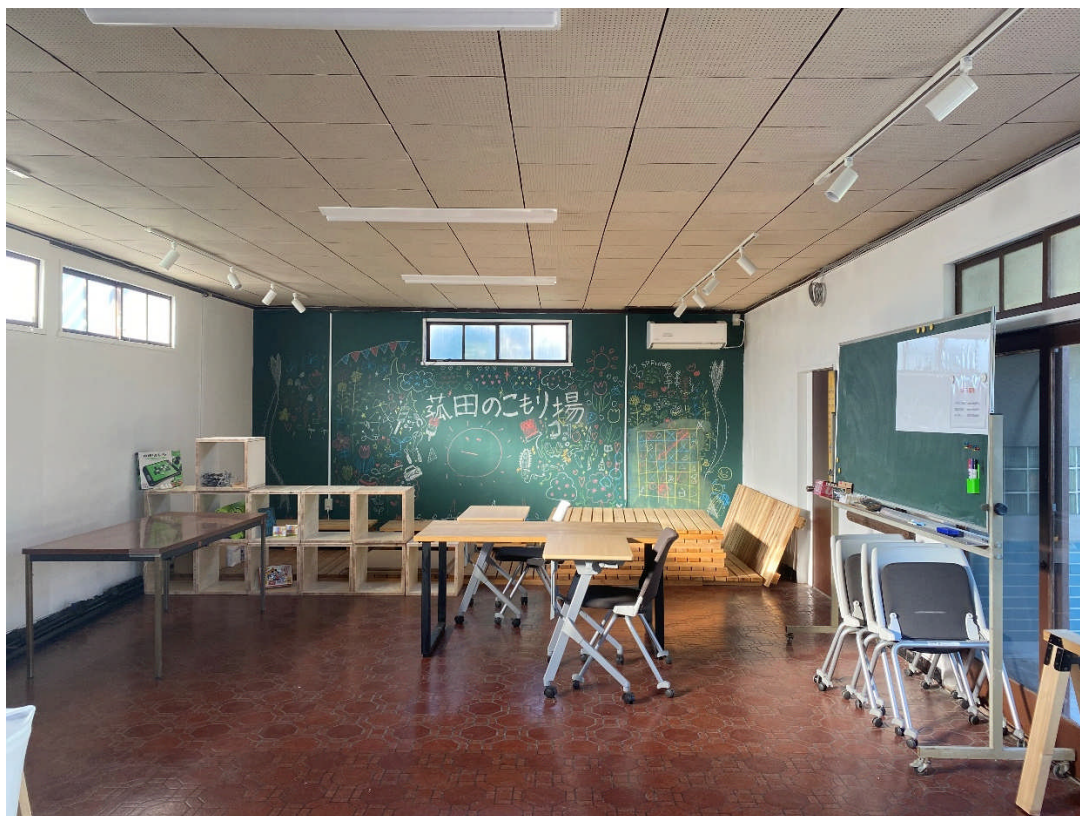
第 35 期は、前期に引き続き学生と一緒に活動に制限がかかるなどしたため限定した活動となってしまいました。様子をみながら「菰田のこもり場」を進めました。

菰田のこもり場」PROJECT

「江藤石油株式会社」様の敷地内 ガソリンスタンドの裏側にある使われなくなっていた会議室棟を活用していくプロジェクトです。

菰田地区の地域交流拠点をつくる （菰田地区を元気にしたい！）

この場所だからできること、この建物だからできることをみんなで考えていきます



活動報告

飯塚市菰田地区の(株)江藤石油様 会議室を地域交流の場へとリノベーションする「菰田のこもり場プロジェクト」を、近畿大学小池研究室所属の大学院生、大石竜也くん・内直人くん・枋迫柊くんを中心とした近畿大学学生との協同によりすすめています。

① .昔遊びイベント (2022.07.10)

好評だった2022.03の「家具づくりイベント」時の声をもとに、子どもが自ら作成する昔遊びおもちゃを大学生と一緒ににつくって、思いっきり遊ぶイベントを行いました。



大学生にアドバイスしてもらいながら作った竹水鉄砲で、
全身ずぶぬれになるまで思いっきり遊びました！

会場には、江藤県議も応援にきてくださいました。→



会場には、子どもイベントなので駄菓子売り場や焼きたてピザのキッチンカーに出張していただきました！



←駄菓子コーナー：犬丸さん

東町商店街で IT 業事務所と併設しながら駄菓子屋を営業されています。

「福岡子どもホスピスプロジェクト」も推進されており募金も行いました。(犬丸氏が事務局長)

↑ 大人もついつい買いたくなる駄菓子のラインナップ！！



←ピザ キッチンカー：ヨハンさん（フランス）

“ピザを主食に”をコンセプトにキッチンカーでナポリピザ作りをされています。



とても美味しくいただきました！

メニューを制覇したくなる味でした！

今後、この「昔遊びイベント」を定期的に行っていけるよう検討しています。

② .こもり場バージョンアップ

- 1) .一部が腐食してボロボロになっていた南側の木製引戸と北側上部窓の取替え修理をして、きれいになりました！
明るくなり外部にデッキ敷くと空間がつながった感じとなりステキです。
- 2) .取り替えた南側の木製引戸の外部分の屋根が新設されました。さらに一体感が増しました。
屋根が新しくした木製建具を雨から守ってくれます。

（工事はオーナー側で施工）



「学生デザイン+地域の企業」

このプロジェクトは、企業・学生・自治体・地域住民が連携して「菰田のこもり場」という地域コミュニティ活動のための場所をつくるという目標のもと活動しているものです。

このプロジェクトでのつながりから「学生デザイン+地域の企業」で椅子を製作するコラボ企画を進めています。

試作品 第1段として、デザインアイデアの中から1つを選び、カシマ製作所様[鉄部分 材料提供+製作]と(株)チクモク様[木天板 材料提供] ご協力のもと試作品が完成しました。



「シルバー仕上」



「マッドブラック仕上」



「無塗装仕上」



※天板は、すべて杉 無垢材を使用しています。

今後、他のデザインアイデアの椅子も試作予定です。地元企業と学生のコラボ 期待できます！

04.つかこうへいと筑豊研究会

会長：池田 静子

日本の演劇界の風雲児と呼ばれた劇作家「つかこうへい」は、筑豊の嘉麻市出身です。

筑豊の人々に「つかこうへい氏の作品」（小説、演劇、映画）が身近に親しまれ、筑豊の若者たちの文化意識が向上し、心豊かな生活に結び付くよう、つか作品や筑豊の豊かな文化を学ぶ場となるよう活動をしていきたい。

★7月10日(日) つかこうへいさん 13回忌法要「すかぶら忌」

7月10日はつかこうへい氏の命日で、昨年は13回忌でした。

つかこうへいさんが亡くなったのは2010年4月10日。2016年の7回忌の命日に、同級生やつかファンに呼びかけて初めて、嘉麻市の善照寺にて法要を行いました。善照寺はつかさんのご両親が納骨されているお寺で、生前、つかさんは両親の命日にお参りに来られていたと言います。

また善照寺の前住職の西原成之先生は、元山田高校の国語教授でもありました。つかさんは高校時代、新聞部に所属し、エッセイ「叛逆児」をコラム記事で執筆。学生たちの人気のコラムでした。私も強烈にそのコラムは記憶にあります。その時の新聞部の顧問が奇遇なことに善照寺の西原先生でした。

そういうご縁から、7回忌以降、筑豊ゼミナールに「つかこうへいと筑豊研究会」を設立し、命日に法要「すかぶら忌」を毎年執り行ってきました。つかこうへいの名前は知っていても、筑豊（旧嘉穂町）出身と言うことを知らない人や、つかこうへいを知らない若者たちが年々増えていることはとても残念でなりません。だからこそ、一人になったとしても、「つかこうへいと筑豊研究会」は私の命が続く限り継続して、つかこうへいさんの功績を筑豊の人々に知って頂きたいと思っています。



毎日新聞 7月9日の記事

★つかこうへいさんが育てた人たちの活躍

①映画「蒲田行進曲」で銀ちゃん役を演じ、一躍してスターとなった風間杜夫さん

昨年11月博多座で大竹しのぶ主演の「女の一生」に堤章介役で風間杜夫さんが共演されていました。

このパンフレットによると風間杜夫の紹介欄には「1957年より子役として活躍。1974年に『勝海舟』でドラマ初出演を果たし、1977年以降、舞台『熱海殺人事件』、映画『蒲田行進曲』などのつかこうへい作品に数多く出演し人気を博す。・・・」とある。

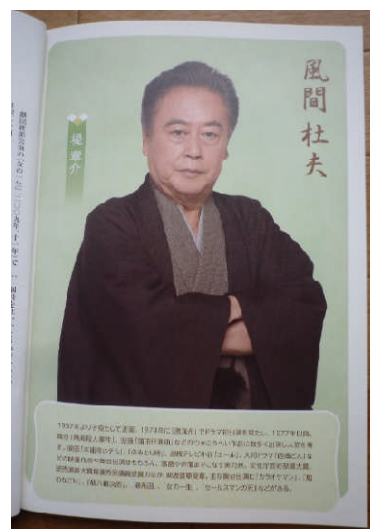
つかさんは慶応大学の学生時代に、なぜか？早稲田小劇場で活躍するのだ。その当時、私も東京に住んでいて、フリーの編集者としていろんな出版社の仕事を請け負い、編集に従事していた。いろんな新聞で「つかこうへい」の名前を目にしていた。それが、つかさんは当時、小説『蒲田行進曲』で直木賞を最少年で受賞し話題となったのである。親しい高校の同級生からの電話で「つかこうへい」が、同級生で有ることを知らされたのだ。本名を知らされても思い出せなかった。その友人が「学校新聞で『叛逆児』と言うコラムを書いていた人よ」と聞かされ、高校生時代に毎回そのコラムを楽しみに読んでいたことを記憶があり、そのコラムが目には浮かんだ。友人とチケットを購入して観劇に行こうと何度か試みたが、チケット売り場にはいつも長い行列ができていて、なかなか手に入らずに諦めたものだった。

つかさんは、丁度この頃、日活ロマンポルノ映画に出演していたという風間さんを訪ね、「芝居しないか」と誘い、早稲田小劇場の劇団に誘ったという。

当時、早稲田大学生の学生だった平田満も、早稲田大学の演劇部に所属し、早稲田小劇場でつかさんの芝居に魅了されて観ていた一人だった。つかさんは、その風間杜夫と平田満を主人公にした「熱海殺人事件」を上演し、瞬く間につかこうへいの芝居がメジャーとなったのだった。

また大竹しのぶと風間杜夫の二人は、つか作品映画「青春かけおち篇」（1987年）でも共演している。

<女の一生>のパンフレットより>



②歌舞伎『新・三国志』の脚本・演出家の横内謙介氏は元つかこうへい劇団員

今年2月15日(水)、午後15時から博多座に市川猿之助主演の歌舞伎『新・三国志』を観劇にいった。

猿之助はいつか観たいと思っていた役者だった。そんな折、テレビで博多座の『新・三国志』公演の紹介をしていたので、即、博多座に電話を入れてチケットを購入した。

歌舞伎を観るのは数年ぶり、また猿之助は初めてだったので楽しみだった。

主演の市川猿之助は関羽、張飛を市川猿弥、そして劉備を市川笑也が、諸葛孔明を市川青虎が演じる。

『三国志』の話はおぼろげに知っていたので、あの場面あの場面と進んでいたが、後半にどんでん返しがあったのだ。それも、どこかつかこうへい氏の作品につながるような気がして、『新・三国志』チラシで脚本・演出家を確認すると横内健介とあったのだ。横内氏は元つかこうへい劇団員で、最近注目されている脚本・演出家として注目されている一人なのだ。

どこが、これまでの『三国志』と違うかという、関羽と張飛は勇敢に戦う武将だが、劉備玄德が後編で明かされるのが女性という設定になっていたことである。つかさんの演出は、最後にどんでん返しがあり、度肝を抜かす粋な演出があり、観衆の心をつかむのである。この度の『新・三国志』の演出は、正にそうしたつかさんの精神が引き継がれているように思えた作品だったと思う。

つかこうへいさんに鍛えられた元つかこうへい劇団員たちが、現在も芸能界のいろんな分野で活躍するのを見ると、つかこうへい氏の凄さ、魅力は確かに今も受け継がれていると思った。存分に、歌舞伎の醍醐味と粋な演出に満足したひとときだった。



つかこうへいと筑豊研究会

No. 8

発行：筑豊ゼミ「つかこうへいと筑豊研究会」

発行日：令和4年8月1日

問合せ先：090-4474-8051 (池田)

● コロナ禍で

社会システムも一変

2019年12月、中国で初めてコロナウイルス感染者が報告されてから早2年半。今なお世界中で型を変えながら感染者は増え続け、それでも世界の国々では徐々に規制が緩和されてきています。

そういう中で、これまで想像もしない早さで働き方改革が進み、あらゆる社会システムもデジタル化し、今や労働者は出勤せずにパソコンでバーチャルや、オンライン等を使って自宅で仕事をし、大学や小・中・高校の学生たちもオンラインでの授業が主流となるなど生活のシステムが、この1〜2年で一変。

社会の有様様が急速に変容し、パソコンやスマホは、現代人に無くてはならない必需品となり、これらを使いこなさなければ生活できない世の中と化しています。高齢者は置き去りの感じがしないでもありません。言い訳ですが、ウィンドウズ11に買い換えて使いこな

せず、会報が遅くなりましたことお詫びいたします。

● つかこうへい氏の13回忌

善照寺にて開催

さて今年7月10日は、つかこうへい氏の十三回忌でした。

以前から、13回忌は北九州小倉の映画館「昭和館」(8月10日の旦過市場の二度目の火災で全焼)とても残念でなりません。つかこうへい氏の映画作品の上映をしたいという願望があり、お願いに上がったのですが、映画のフィルムの劣化や入場客2000人の動員ができるならという条件に、現在の「つかこうへいと筑豊研究会」の状況では動員は無理と思い、実現には至りませんでした。

今年も、善照寺にて13回忌、「すかぶら忌」(7回目)を開催だけとなりました。

毎回参加してくださる筑豊ゼミの菊川清先生(元近畿産業大学学部長)は福岡市から参加いただきました。いつも暖かく研究会を見守っていただいております。

元山田高校でつかさんの副担任

だった永吉博義先生は、今年89歳になられます。7回忌以来「すかぶら忌」に、太宰府から参加いただき、つかさんの学生時代の思い出やエピソードなど語っていただいています。娘さんはつかさんのファンで芝居も観劇され、詳しいとのこと。先生はつかさんの芝居を一度も観たことがないということ。2018年、北区つかこうへい劇団の福岡公演「熱海殺人事件」が福岡市ぽんプラザで上演された折りに、先生と一緒したことがありました。先生はこの時が初めてつか作品を見られたのでした。

「中学生でニーチェやカントといった心理学や哲学の本を読破したといっていたが本当だったのだと分かったよ。彼らしい作品だった」と感心されたのが印象に残っています。「元氣なうちは命日に参加します」と言っていたが、運転免許を返上された今もお嬢さんの運転で参加されています。

また7回忌に続き、今回が二度目という篠崎修氏は福岡市から実家が嘉麻市で帰省して久しぶりに今回参加されました。

「つかさんの芝居は健在の時に福岡公演を観て、芝居に魅了された」と、思いを語られました。

善照寺の住職で、元山田高校の国語教師で、やはり今年90歳になられる西原先生にお経をあげていただき、参加者全員が焼香をした後、DVD(大分つかこうへい劇団のオーディション風景)を鑑賞。

つかさんが大分市の協力を得て「大分市つかこうへい劇団」を旗揚げしたのは、47歳の時でした。

「地方からの文化の発信」を新たな挑戦を目指して、大分市でのオーディション会場に集まった人々と意欲的に取り組むつかさんの姿が映像からも伝わり、あまりにも早すぎる死を悼まずにはいられませんでした。

●追悼

前飯塚市副市長を長年勤められた梶原義充さんが昨年8月19日に逝去されました。

梶原さんはつかさんの同級生で一番の理解者だったと永吉博義先生は語られます。

東京の大学を卒業して飯塚市

役所職員となった梶原さんは、外

国人登録の課に配属され、当時、外国人は、毎年、外国人登録の申請を

しなければならなかった時代で、

つかさんは数年、申請手続きを怠

っていたこともあり、梶原さんは

高校卒業以来、初めてつかさんに

連絡を入れたといいます。東京か

ら帰省したつかさんはすぐに手続

きにきて、その後は毎日のように

梶原さんを訪ねて市役所に立ち寄

るようになったと言います。職場

中に響き渡る大きな声で数時間話

し込んで帰って行くつかさんは、

市役所中の話題になったそうです。

「あの時は、スランプで大学を辞

めるか迷っていた」と梶原さんは

当時を振り返り語られています。

しかし、間もなくして東京に帰

ってからつかさんが、岸田戯曲賞

受賞という快挙を成し遂げたので

す。

肩身の狭い思いをしていた梶原

さんは、「すごい友達だな!」と職

場の仲間の梶原さんに対する目が

一変したと、うれしそうに語られ

ていたのが印象に残っています。

また高校生二年生の時、つかさ

んはバイクで学校に通っていて、

梶原さんの家にもバイクで訪ねて

くるようになり、ある時、免許証を

ボンと投げだしたので、見ると国

籍が韓国と記されていたが「それ

がなんだよ」というと、それ以後、

2人は互いの家に行き来するよう

になり、泊まって徹夜で語りあう

ほど親しい仲になったと言います。

余談ですが、つかさんの家は母

屋と別棟に洋館風の子ども部屋が

あったと言います。かたや梶原さ

んの家も、父親が元山田市役所勤

務で大きな家だったそうです。

もう一つ二人のエピソードを。

高校2年生の文化祭でのこと。ち

ょうど世の中はベトナム戦争(1

955~1975)の真っ只中で

当時、社会問題となっていた時代。

そのベトナム戦争反対のパネル展

を高校の文化祭で取り上げたこと

です。このパネル展の発案者こそ

つかさんだったのですから。

それも、修学旅行で東京にいつ

た時、夕食を終えてから、つかさん

が「おい、今から新聞社にいくぞ!」

と梶原さんら4~5人を引き連れ

て朝日新聞社東京本社に行き、直

談判でパネルを借りてきたのだと

います。

永吉先生も、ベトナム戦争のパ

ネル展は職員会議で大問題となり、

中止させることなど検討されたが、

結果的には開催は許可され、当時

としては片田舎の高校でベトナム

戦争をテーマの文化祭をしたこと

は画期的だったと思います。

7回忌の直後に、梶原さんは副

市長という重職に従事され、時間

がとれたら「すかぶら忌」に参加す

っていました。もつとつかさんとの

思い出を語っていただきました。

と、悔やまれてなりません。



つかこうへい 13 回忌「すかぶら忌」

※ 「すかぶら忌」とは？

つかこうへい氏(嘉穂郡嘉穂町(現嘉麻市)出身) の 7 回忌(2016.07.10)に同窓生やファンが集まり「つかこうへい氏を偲ぶ会」を善照寺（嘉麻市）にて開催。その後、毎年 7 月に偲ぶ会「すかぶら忌」を開催してきました。

「すかぶら」とは筑豊の方言です。過酷な炭鉱労働者の中で噂話や下ネタなどで人を笑わせ気持ちを和ませるが、働くことを好かず、ぶらぶらしているので「すかぶら」といわれたらしい。つかさんもこの「すかぶら」についてよく語り、周りを笑わせていたという話も残っています。

★今後の活動について

会員は 2 名ですが、一人が滋賀県に転勤となり、実質、一名。定期的な活動はしていないが、つかこうへい氏の 7 月 10 日の命日の「すかぶら忌」のみは今後も続ける。またつかこうへいの演劇が福岡県内であれば、紹介をしていきたい。つかこうへい氏はシェークスピアの世界に魅せられていたという。今後は、つか作品を紹介し、筑豊に昭和にあったような元気な文化を若者に伝えていく取組みをしていく。

05.情報発信/データデザイン研究会

活動目的

データデザイン研究会は、近畿大学と九州工業大学を有しており、工業系の学生が多く生活している筑豊地域において、地域と学生の繋がり の提供や、これらの学生ならではの目線で筑豊の魅力の発信や創出を目指しています。

参加者

近畿大学産業理工学部 に在籍する学生

渡邊優真

宅島優真

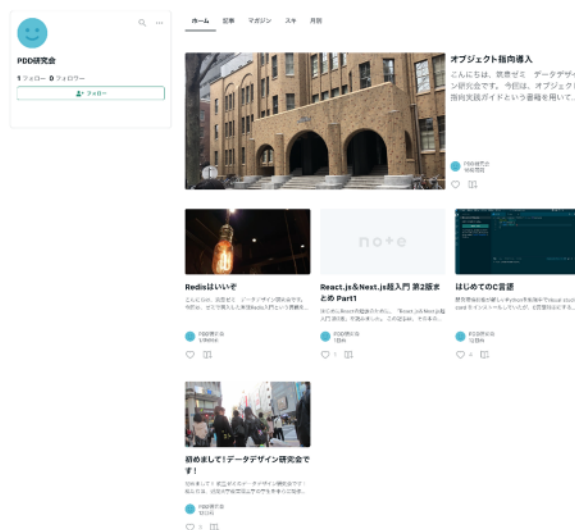
松本桃佳

上田悟士

成果

今季初めてで参加と運営をしたため、前期のことをあまり詳しく知りませんが、

- 選書ツアー(2023/02/22 福岡市内の書店で実施)
- 活動報告、テックブログの執筆 <https://note.com/tsunagucafe/all>



- メンバーでの交流、作業会(Garaway F というコワーキングスペースで実施)
- 他学年、他学科のメンバーとの交流

- つなぐカフェと類似した施設についての調査(Garaway F, dot., いいかねパレット)
- 活動動画(模索中)
- 次回活動のアイデア出し
- Twitter でのつなぐカフェ、研究会の活動周知

について達成することができました。



作業会の画像

所感

活動のなかで、つなぐカフェ、特にデータデザイン研究会と同様に、地域の交流の拠点としてスペースを提供している Garaway F や、主に若い世代を中心に呼び込み地方の魅力を発信している dot. やいいかねパレットなどがあることを知りました。

運営するにあたって、メンバーの招集などが難しいなかで、参加するメリットや、使用するメリットを与えることが、今後も継続して研究会を運営していく上で必要であると思いました。

課題

- メンバーとのコミュニケーションがうまく取れなかった点。
->連絡ツールの見直し
- 就活の時期と重なり、うまく動けなかった点。
->負担を分散する

今後の活動について

- 最重要課題として、現メンバーの卒後にメンバーがいなくなることがあるので、これから筑豊ゼミと、データデザイン研究会の活動の活発化と参加するメリットをメンバーに感じてもらう活動が必要だと感じました。

06.写真家 2.0/筑豊地域おこし写真研究会 会長：橋田隼平

今期7月より活動に加わり、いくつかのイベントを主催。
「住み続けたいまち」をテーマにフォトプロジェクトを提案。
写真を通じて地域を見つめ直すための活動、及び発信方法の改善を行いました。
「協働のまちづくり応援補助金(チャレンジing事業)」の採択を受け、
撮影会及び講演会も開催。ご参加いただいた方々から好評を得ることができました。

活動としては、まだ約8ヶ月ほどですが、今後の方向性がみえてくるだけの活動はできたのではないかと思います。
課題としては、同じ筑豊ゼミの他の研究会の方々にもイベントに参加していただき、一緒に盛り上げたいところですが、巻き込み切れていないので、来期は他の研究会ともうまく連動していける企画を作って行きたいと思います。

【今期の主な取り組み】

・WEBサイトの改修(8～10月)

組織の信用にも関わるホームページを改修。
杜撰な状態だったWEBサイトを一から作り直しました。
新たにギャラリーページや筑豊ゼミのページを設け、より活動の実態を知ってもらえるようなWEBサイトに一新しました。

・Instagram「ハロー！筑豊」の創設(10月)

現在(3月時点)フォロワー:196名
筑豊地方で再発見した様々な景色や事柄を写真で発信。
ホームページのギャラリーと連動。



フリーマガジンHenの代表桑野さん、おおつか進弘直方市長、佐々木まこと福岡県議会議員(田川出身)、香春町観光協会など始めとする、筑豊にゆかりの人物、自治体、住民の方々からフォローされるなど、発信したい層に確実にコツコツと広まりつつあります。

・イベント申し込みプラットフォーム(Peatix)開設(10月)
イベント開催時のネットからの申し込みができるようになりました。



写真家2.0/筑豊地域おこし写真研究会 (写真部)

NPO法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター

グループを編集

福岡県のほぼ中央部にある、筑豊地方。そこには、住民それぞれの生活圏外にも、たくさんの知られざる魅力が隠れています。しかし、そこに気づくためには、自ら率先して見つけていく必要があります。

[続きを読む](#)

・LINE公式アカウント開設(10月)
一般の方が自由に友達登録可能。
登録してもらうことで、こちらからの案内を自由に発信可能に。

・第1回撮影会「マイクロフォトツーリズム筑豊」(11月)
曩祖八幡宮にて撮影会を開催。参加者8名。
参加者それぞれ思い思いのテーマで撮影。考えながら撮ることで、普段見慣れた景色でも新しい発見を得ることができました。
その後、会場を市民交流プラザに移し、撮影した写真を講評しあいました。
講評しあうことで、撮影者自身さえ気づかなかった新たな発見がありました。



・note始動(12月)

活動の報告をパブリックに発信するためのツールとして、ブログ形式に記事を発信できる。まずは手始めとして第1回目の撮影会の様子を記事にして発信しました。



・スマホ撮影&Instagramスタートアップ講座開催(1月)

写真を気軽に始めるためのキッカケ作りの一環として、スマホでの撮り方の基礎。Instagramの開設、投稿の仕方をレクチャーしました。参加者9名。
「協働のまちづくり応援補助金(チャレンジ事業)」採択事業でもあるため、市役所及び、市内の各交流センターにもポスターを掲示。市報でも参加者を募りました。



・教育委員会へ「写真を通じた教育プロジェクト」の提案(2月)

2月2日に行われた教育委員会の校長会にて「写真を通じた教育プロジェクト」の企画をプレゼンする機会を得ました。3分ほどの短い時間だったため、まだ実施に踏み切るための決定打には至りませんでしたが、今後の展開のための第一歩になりました。



・写真家テラウチマサト氏を招いた講演会(2月)

「写真を通じた地方創生」未来の可能性～「なににもない」がある、まちの魅力と題し、庄内交流センター別館ミニシアターにて講演会を実施。
オンラインでの配信も同時に行い、県外からの参加者も募りました。
リアル会場での参加者12～13名。オンライン4名。
その他、飯塚市広報課、まちづくり推進課、西日本新聞の方もいらっしゃいました。
翌日の西日本新聞筑豊版のトップに掲載。
収録も同時に行っており、その内容を今後はPR素材として、他方に発信予定。



筑豊地域づくりセミナー報告

今期は、筑豊地域づくりセミナー（地域社会の振興発展に関する情報の収集・提供事業）を以下のとおり開催しました。

第 30 回 筑豊地域づくりセミナー講演会

2022.11.22 (火) 18:30～19:30 飯塚市中央公民館(コミュニティーセンター) 学習室 301・302

演題：「人生 100 年時代を迎えての男女共同参画社会」

～女性のライフステージの視点を含めて～

講師：藤江 奈美 氏（飯塚市副市長）

内容：人生 100 年時代を迎えて、家族の姿が変化し、人々の人生は多様化しており、こうした変化・多様化に対応して、制度、慣行、そして意識を見直していくことが、まさに今求められています。

2020 年時点（国勢調査）で 100 歳を超える人は、女性 69,757 人、男性 9,766 人となり、まさに人生 100 年時代が到来する中、特に女性の人生は非常に長くなっています。

男性についても、人生が多様化する中で固定的な性別役割分担意識を前提とした働き方や暮らし方を見直すことが、男性にかかる様々な負担を軽減することにつながります。

当日は、家族の姿の変化と人生の多様化、結婚と家族を取り巻く状況について、各種データ等を中心に整理し解説いたします。

加えて、自身の子育て・介護・仕事・学びなおし等の経験をライフステージにあわせてひとつの例としてご紹介させていただきます。

人生 100 年時代、安心して健幸に過ごすことを考える機会になればと思います。

第 31 回 筑豊地域づくりセミナー講演会

2023.01.26 (木) 18:30～19:30 飯塚市市民交流プラザ(あいタウン 2F) つなぐカフェ@飯塚

演題：「あふれる情報との接し方 ～新聞のデジタル化を通して」

講師：堺 成司 氏（西日本新聞社メディア戦略局次長）

狙い：インターネットの普及に伴い、誰もが情報を発信できる時代になりました。副作用をして、真偽不明のニュースが社会にあふれ、フェイクに踊らされて誤った情報を拡散したり、無用な誹謗中傷で他人を傷つけたりする事態を招いています。

自分が見聞きした情報が事実かどうか、ファクトチェックできる力を身に付けたい。そのためには、自分を取り囲むメディア環境の変化を把握しておく必要があります。情報を発信する側の事情を知ると、そのヒントが見えてくるかもしれません。アナログからデジタルへと転換を迫られている新聞社の取り組みを通じて、あふれる情報の接し方をみなさんと考えてみましょう。

※本講演会において、初めての試みとしてオンライン配信を行いました。

第 35 期筑豊ゼミ 修了式次第

日 時： 2023 年 04 月 21 日(金) 19:00～

場 所： 飯塚市市民交流プラザ（ つなくカフェ@飯塚 ）

-
1. 開式のことば 筑豊ゼミ 運営委員長 六谷 拓也
 2. 祝辞・挨拶 NPO 法人住学協働機構筑豊地域づくりセンター
理事長 小野 正行
 3. 筑豊ゼミ研究会 紹介・第 35 期活動報告
 - ・ 市民遺産研究会
 - ・ 古代のロマンに酔う研究会
 - ・ 住み続けたいまち・住んでみたいまち～勝手に提案研究会
 - ・ つかこうへいと筑豊研究会
 - ・ 情報発信/データデザイン研究会
 - ・ 写真家 2.0/筑豊地域おこし写真研究会
 4. 閉式のことば 筑豊ゼミ 事務局長 岩永 潔

以上

発 行：NPO 法人

住学協同機構筑豊地域づくりセンター

第 35 期筑豊ゼミ

<http://www.chikuzemi.com/>

編 集：第 35 期筑豊ゼミ運営委員会

esutema69@gmail.com （運営委員長） 六谷 拓也

kiiboo914@gmail.com （事務局長） 岩永 潔

第35期 筑豊ゼミ 決算報告 (2022.04.01~2023.03.31)

会費の収支					
摘 要		収入	支出	残高	備考
正会員会費（市民遺産研究会 5,000円×8名）		40,000	32,000	8000	活動費 4,000円 × 8名
団体会員会費（遠賀川上流古代祭り実行委員会）		10,000	0	10000	
団体会員会費（福岡県建築士会飯塚地域会）		10,000	0	10000	
正会員会費（つかこうへいと筑豊研究会 5,000円×1名）		10,000	4,000	6000	収入は令和3年度分を含む
正会員会費（情報発信/データデザイン研究会 5,000円×1名）		5,000	0	5000	
正会員会費（写真家2.0/筑豊地域おこし写真研究会 5,000円×1名）		5,000	0	5000	
事務局経費		0	0	0	
【会費計】		80,000	36,000	44000	
活動費の収支					
摘 要		収入	支出	残高	備考
研究会	市民遺産研究会	32,000	28,780	3,220	
	古代のロマンに酔う研究会	0	30,000	-30,000	遠賀川上流古代祭り協賛金
	勝手に提案研究会	0	9,140	-9,140	菰田のごもり場イベント経費
	つかこうへいと筑豊研究会	4,000	9,889	-5,889	活動費は令和3年度分を含む
	情報提供/データデザイン研究会（PDD研）	0	50,016	-50,016	
	写真家2.0/筑豊地域おこし写真研究会	0	208,475	-208,475	チャレンジング事業
事務局経費		0	0	0	
【活動費計】		36,000	336,300	-300,300	
活動費支出明細					
情報関連費					
研究会	市民遺産研究会		0		
	古代のロマンに酔う研究会		0		
	勝手に提案研究会		0		
	つかこうへいと筑豊研究会		0		
	情報提供/データデザイン研究会（PDD研）		9,079		ソフトウェア代
	写真家2.0/筑豊地域おこし写真研究会		5,780		モバイルルーター賃借料
事務局経費			0		
研修費					
研究会	市民遺産研究会		0		
	古代のロマンに酔う研究会		0		
	勝手に提案研究会		0		
	つかこうへいと筑豊研究会		550		会場費
	情報提供/データデザイン研究会（PDD研）		0		
	写真家2.0/筑豊地域おこし写真研究会		95,885		会場費、講師謝礼、ポスター等印刷費
事務局経費			0		
消耗品費					
研究会	市民遺産研究会		4,780		プリンターインク
	古代のロマンに酔う研究会		0		
	勝手に提案研究会		9,140		イベント用消耗品
	つかこうへいと筑豊研究会		0		
	情報提供/データデザイン研究会（PDD研）		0		
	写真家2.0/筑豊地域おこし写真研究会		0		
事務局経費			0		
図書費					
研究会	市民遺産研究会		24,000		書籍費
	古代のロマンに酔う研究会		0		
	勝手に提案研究会		0		
	つかこうへいと筑豊研究会		0		
	情報提供/データデザイン研究会（PDD研）		34,697		書籍費
	写真家2.0/筑豊地域おこし写真研究会		0		
事務局経費			0		
雑 費					
研究会	市民遺産研究会		0		
	古代のロマンに酔う研究会		30,000		協賛金
	勝手に提案研究会		0		
	つかこうへいと筑豊研究会		9,339		郵便代
	情報提供/データデザイン研究会（PDD研）		6,240		交通費等
	写真家2.0/筑豊地域おこし写真研究会		106,810		講師旅費・宿泊費
事務局経費			0		
【活動費支出計】			336,300		